社会福祉法人 長幼会

平成28年度 事業報告書

目　　次

１　はじめに　……　１
２　事業並びにその運営状況　……　１
３　法人本部機能の強化　……　１
４　理事・監事・評議員　……　３
５　理事会の開催状況　……　３
６　評議員会の開催状況　……　４
７　各種委員会　……　５
８　すくすく保育園事業報告　……　７
９　千丸台保育園事業報告　……１５
１０　横浜みなとみらい保育園事業報告　……２１
１１　玉川保育園事業報告　……２６
１２　新井小学校放課後キッズクラブ事業報告　……３１

１　はじめに

社会福祉法人長幼会は、平成１２年１０月２４日の設立以降、第二種社会福祉事業の保育所の運営を基本に、平成１３年４月１日に横浜市都筑区大棚町に「すくすく保育園」を開園、平成１７年４月１日横浜市の公立保育園民間移管に伴い保土ヶ谷区新井町に「千丸台保育園」を開園し、平成２０年４月１日には西区高島町に「横浜みなとみらい保育園」を開園、また、川崎市の公立保育園民間移管に伴い中原区北谷町に平成２４年４月１日「玉川保育園」を開園し、横浜市内に３園、川崎市内に１園の認可保育所を有するまでになりました。また、放課後児童健全育成事業の放課後キッズクラブの事業運営法人として、平成２４年３月１日には、保土ヶ谷区上菅田町に「新井小学校放課後キッズクラブ」の運営法人として、事業規模が広がりつつあります。また、法人に勤務する職員数も１８０名を超える規模となり、当法人が果たす社会的責任と役割は益々大きいとの認識に立ち事業運営を進めてきました。

２　事業ならびにその運営状況

定款の定める本法人事業目的達成のため、保育所並びに放課後キッズクラブを経営しました。

【全体総括】

平成２８年度の特徴は、社会福祉法の一部改正に伴う対応として、平成２８年４月１日施行分と平成２９年４月１日施行分とについて、所轄庁からの指示に基づき、対応への検討や事務手続きを進めてきた年度となりました。とりわけ、所轄庁が開催する法人説明会へ積極的に出席し、取り組みの齟齬が生じないよう注意を払ってきました。

とくに、所轄庁が神奈川県から横浜市に変更されることから、４月以降の運営に支障が生じるとの判断で、定款の見直しを優先し認可申請を行って来ました。この所轄庁変更に伴い６月２４日には、横浜市の一般指導監査を受けてきました。

社会福祉法の改正に伴う対応は、当然のことながらその改正の目的趣旨に沿った対応が必要となることから、目的として示された一つひとつの項目について、合同企画会で検討を進め、確認の必要な項目については、理事会での確認を行いつつ進めてきました。

ガバナンスの強化に向けては、本部機能の強化に向けた検討を進め、本部職員の役割を明確にするとともに、平成２９年４月以降の評議員会の必置に伴う評議員選任・解任委員会規程の整備と委員の選出、同委員会による評議員の選任に対する諮問等をおこない、答申を得てきました。

事業運営の透明性については、経理規程の見直し、役員報酬基準の見直しや関連する書類の整備や公表の方法等検討を進めてきました。

財務規律の強化については、社会福祉充実残額の活用に向けた新たな事業の検討や所轄庁からの調査への対応をしてきました。

施設整備としては、平成２７年・２８年度の２か年に亘る千丸台保育園の増築その他工事が完了し、改装なった園舎を活用し、地域の子育て支援の拠点としてのみならず、地域ニーズに即した福祉サービスの提供の可能性などを今後、検討していくこととします。

施設内整備としては、各園の経年劣化に伴う不具合が建物・設備で生じていることから修繕を行うとともに、園庭遊具の更新等を行ってきました。。

３　法人本部機能の強化

⑴　法人本部機能の強化

平成２９年度４月１日より施行される社会福祉法人制度改革は、社会福祉法人の１）経営組織のガバナンスの強化としての理事・理事長に対する牽制機能の発揮、財務会計に係るチェック体制の整備、２）事業運営の透明性の向上や財務規律の強化、３）地域における公益的な取り組み

を実施する責務などが求められています。

これらの提起に対応するためには､長幼会としてより充実した福祉サービスの提供へ向けた｢組織的な経営」が急務であり、これまでの法人運営を見直し、持続的発展を可能とするリソースの活用（人・物・箱・金・情報）を視点とした組織への変革に向けた取り組みを進めてきました。

具体的には

・改正社会福祉法により、社会福祉法人は「施設中心の運営」から「組織的な経営」への変革が求められている。
・社会福祉法人の「改革」は、経営組織のガバナンス強化や事業運営の透明性の向上、財務規律の強化などが柱。
・｢組織的な経営」への変革では、内部統制などの外的基準の準用が、透明性確保や説明責任の観点で有効。

との視点から対応を進め、本部組織の機能強化と役割の明確化を図ってきました。

① 本部機能の明確化と計画的な管理職育成

社会福祉法人が認識している共通の課題は、法人本部はあるものの「処理業務が中心で、企画管理のような本来業務ができていない」、「法人本部と現場との間に意識の差やコミュニケーション・ギャップが存在する」、「事業や施設ごとに配置する管理職が現場業務に忙殺され、管理のための時間がとれない」、「人手不足のために管理職も現場に投入され、マネジメント業務に手が回らない」といったものが主として挙げられており、当法人もその例に漏れないとの認識の元、階層的なマネジメントの実現に向け本部機能の明確化を図ってきました。

一方で、福祉に従事する職員の多くは、利用者の役に立つことを喜びとして入職する人が多く、管理職になることで現場業務から離れることを好まない傾向があり、管理職の育成が困難という現実があります。管理職も、現場を担う職員も、｢自分たちは法人の一員として、地域のニーズに応えているのだ」という意識変革に向けた取り組みも含め、管理職の育成に向けた計画的な教育プログラムの作成に着手しました。

② 法人本部と法人事務局の役割の明確化について

法人本部を明確にすることから、運営上の諸事務を担当する部局として事務局を設置し、役割の明確化を図ってきました。

⑵ 法人本部の設置と機能

本部機能との関係については、理事会（業務執行機関）・理事長・法人本部をまとめ、法人本部を理事（執行役員）・本部事務局員からの構成とし、社会福祉法人長幼会に新たな事業所として本部を設置する。法人本部には、本部長、事務局長、顧問、職員を置き、理事長は本部を代表する。ことを明確にしました。

本部機能としては、１）評議員会の意思決定に基づき、役員は執行責任を負い、法人全体の各事業の計画的な進行管理を行う。（各事業、施設の運営支援と管理監督等）、２）収支状況等の課題や、サービス提供等の事業運営上の課題について、現状だけでなく、起こりうるリスクを含めた具体的な情報を外部（国、市区町村、福祉医療、機構、社協等）や法人内の各事業部門から収集し、分析すること。また、その結果について考えられる対応策を含め、理事長や理事会に報告、判断を求める。３）複数の施設、事業を運営していることから、全施設・事業の経理、総務、人事を将来的には集約し、より透明性のある事業運営を目指すこととします。

⑶　内部管理体制の構築

①　法人本部機能の確立

・法人全体をグループ経営の視点で捉え、現場である施設・地区や法人本部の階層ごとの役割や責任を明確にする。法人本部には業務処理を脱却し、法人全体を俯瞰した企画管理業務を担わせ、中長的な観点から法人改革や成長戦略策定、採用や人事管理・育成などの課題に対応する。

②　各施設（拠点）の管理監督業務の確立

・事業部門の管理単位を新会計制度に対応して拠点区分になってはいるが、施設長がマネジメント業務に対応できるように、リーダー層への権限委譲を意識してリーダー層を育成する。同時に業務の標準化を進め、マニュアル作成などの仕組みづくり、職員の意識の変革に取り組む。

・常に管理者（役員・施設長）として組織の運営・維持を念頭におき、自覚と責任を持ち、管理者間の意思統一、共通理解を図る。（「報告・連絡・相談」のしやすい環境を整える。）

③　事業統括機能の確立

・制度の異なる事業ごとに制度遵守や業務品質、教育などの観点から事業を制度横断的に管理する横ぐし機能を確立し、業務の適切性を確保するほか、教育の実施や業務監査対応を行う。

４　理事・監事・評議員

平成２８年度の理事（13名）、監事（２名）、評議員（27名）は次の通りです。

理 事 長	水野　恭一			
副理事長	櫻井　義伯	永田　伸和		
理　　事	高橋　今朝次	飯田　恒雄	飯田　嘉雄	天野　國秀
	八木下　和雄	田中　千津子	林　　浩子	小林　純子
	木下　かおり	水野　尊仁		
監　　事	佐野　忠昭	澤　　信一		
評 議 員	水野　恭一	櫻井　義伯	永田　伸和	高橋　今朝次
	飯田　恒雄	飯田　嘉雄	天野　國秀	八木下　和雄
	田中　千津子	林　　浩子	小林　純子	木下　かおり
	水野　尊仁	齋藤　攻	岩井　功	飯村　信子
	庄司　弘美	南出　俊男	長谷川　昭英	佐藤　ひとみ
	相原　陽子	栗原　泰光	田中　香南江	清水　昌恵
	二宮　俊行	成田　孝子	小島　政男	

５　理事会の開催状況

定款第９条の定めに基づき、下記の理事会を開催しました。

⑴　第１回理事会　平成 28 年 5 月 31 日（火）　於：ナビオス横浜２階「オリージャ」
　出席者：１３名（全員出席）
　監　事：　２名
　議　事：第一号議案　平成 27 年度事業報告（案）に関する件

第二号議案　平成 27 年度決算（案）に関する件
第三号議案　平成 27 年度人事院勧告に伴う公定価格等増額分の取り扱いに関する件
第四号議案　改正福祉法「所轄庁」変更に伴う定款の見直し（案）に関する件
第五号議案　千丸台保育園人件費積立の取崩しに関する件

⑵　第２回理事会　平成 28 年 10 月 18 日（火）　於：ナビオス横浜２階「オリージャ」
出席者：１２名（書面出席１名）　１３名
監　事：　２名
議　事：第一号議案　社会福祉法人長幼会　第３期評議員選任に関する件
第二号議案　社会福祉法の一部改正に伴う定款変更（案）に関する件
第三号議案　評議員選任・解任委員会運営細則（案）に関する件
第四号議案　平成 28 年度補正予算（案）に関する件

⑶　第３回理事会　平成 29 年 3 月 14 日（火）　於：ナビオス横浜２階「オリージャ」
出席者：１３名　（全員出席）
監　事：　２名
議　事：第一号議案　平成 29 年度事業計画（案）に関する件
第二号議案　平成 29 年度予算（案）に関する件
第三号議案　社会福祉法改正に伴う評議員候補者の推薦・欠員理事の補充に関する件
第四号議案　社会福祉法改正に伴う経理規程改定（案）に関する件
第五号議案　育児・介護休業等に関する規程改定（案）に関する件
第六号議案　職員処遇改善に向けた福利厚生制度の導入に関する件
第七号議案　苦情解決規程改定（案）に関する件
第八号議案　評議員選任・解任委員の確認に関する件
第九号議案　平成 28 年最低賃金引上げに伴う給与規程の見直し（案）に関する件
第十号議案　長幼会本部機能の強化と役員配置について

６　評議員会の開催状況

定款第１３条の定めに基づき、下記の評議員会を開催しました。

⑴　第１回評議員会　平成 28 年 5 月 31 日（火）　於：ナビオス横浜２階「オリージャ」
出席者：２１名（欠席６名）
監　事：　２名
議　事：第一号議案　平成 27 年度事業報告に関する件
第二号議案　平成 27 年度決算に関する件
第三号議案　平成 27 年度人事院勧告に伴う公定価格等増額分の取り扱いに関する件
第四号議案　改正福祉法「所轄庁」変更に伴う定款の見直し（案）に関する件
第五号議案　千丸台保育園人件費積立の取崩しに関する件

⑵　第２回評議員会　平成 28 年 10 月 18 日（火）　於：ナビオス横浜２階「オリージャ」

出席者：１７名（欠席 10 名）
監　事：　２名
議　事：第一号議案　社会福祉法人長幼会　第３期評議員選任に関する件
第二号議案　社会福祉法の一部改正に伴う定款変更（案）に関する件
第三号議案　評議員選任・解任委員会運営細則（案）に関する件
第四号議案　平成 28 年度補正予算（案）に関する件

⑶　第３回評議員会　平成 29 年 3 月 14 日（火）　於：ナビオス横浜２階「オリージャ」
出席者：２３名（欠席 4 名）
監　事：　２名
議　事：第一号議案　平成 29 年度事業計画（案）に関する件
第二号議案　平成 29 年度予算（案）に関する件
第三号議案　社会福祉法改正に伴う評議員候補者の推薦・欠員理事の補充に関する件
第四号議案　社会福祉法改正に伴う経理規程改定（案）に関する件
第五号議案　育児・介護休業等に関する規程改定（案）に関する件
第六号議案　職員処遇改善に向けた福利厚生制度の導入に関する件
第七号議案　苦情解決規程改定（案）に関する件
第八号議案　評議員選任・解任委員の確認に関する件
第九号議案　平成 28 年最低賃金引上げに伴う給与規程の見直し（案）に関する件
第十号議案　長幼会本部機能の強化と役員配置について

7　各種委員会

平成２８年度の事業計画を遂行するため、下記委員会を開催して円滑な事業運営に努めてきました。

⑴　四園・キッズ合同企画会

理事長の諮問機関として、法人の理念・方針等基本的考えの共通理解を図り管理者の意思統一を図る場として、法人の事業全般にわたる企画、立案、計画等基本的な事項について調査、審議しました。

⑵　合同園長会

法人四園、各事業所の円滑な運営及び各種の連携を図ることから、各事業所の企画、イベントなどを持ち寄り、相互の保育所運営に反映してきました。

⑶　合同主任会議

各園の保育に関する事項や行事・研修等の連絡調整を図るとともに、保育主任としての共通理解を踏まえる場として開催してきました。

⑷　合同看護師会

各園の感染症発生状況の把握、保健業務内容等の情報交換をはじめとし、園児、保護者、職員の健康促進のために保健的な見地からの援助・指導に反映してきました。

⑸　合同事務会議

各事業所における事務処理手続きの課題や法対応に絡む手続き等の共通理解を深め、事務処理を円滑に進めるための場として開催してきました。

⑹　合同栄養士会議

安全かつ衛生的な食事作りを基本とし、各園での取り組み情報を共有するとともに問題点や改善事例について意見交換し、給食提供に反映してきました。

平成 28 年度　すくすく保育園　事業報告

定員　６０名　（在籍７５名）

１　施設運営状況

・入所状況については、ほぼ安定した状況の中で施設を運営することができました。
・定員の25%増の園児の受け入れを行い、待機児解消に努めました。
・一時保育の利用希望は0歳・1歳児が多く、1日1人の受け入れでしたが、可能な限りの受け入れを行いました。
・産休・育休の取得・育児短時間勤務の職員がいること、また、外部への研修に参加してスキルアップをすることができるよう、配置基準よりも多めの職員を採用しました。

【年間利用状況】（各月月初人員）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10月	11月	12月	1 月	2 月	3 月	計	平均
男児	34	35	37	37	37	38	38	38	38	38	38	38	446	37
女児	37	37	37	37	36	37	37	37	37	37	37	37	443	37
計	71	72	74	74	73	75	75	75	75	75	75	75	889	74

【利用者状況推移】（各年度３月１日現在）

	0歳児	１歳児	２歳児	３歳児	４歳児	５歳児	計
２４年度	１０	１３	１３	１４	１３	１２	７５
２５年度	１０	１２	１３	１３	１４	１３	７５
２６年度	１０	１２	１３	１１	１３	１４	７５
２７年度	１０	１２	１３	１３	１３	１３	７４
２８年度	１０	１２	１３	１３	１３	１４	７５

２　利用者支援状況

・朝・夕ともに延長保育を利用するお子さんが増える中、状況に応じた職員体制や保育内容等を整備しながらお子さんたちが安定して過ごせるよう対応しました。また、夕方の延長保育を利用するお子さんについては、必要に応じて、補食・夕食の提供を行いました。
・お子さんたちひとり一人に寄り添い、気持ちを受け止めながら、自分らしさを発揮できるよう環境を整え、達成感・満足感を体験できるよう取り組みました。
・園内外においても、様々な人との関わりやふれあいを大切に、思いやりや優しい気持ちが伝わるよう保育を進めました。
・配慮・援助を要するお子さんへの対応については専門機関との連携を図り、保護者との信頼関係を築きながら、お子さんに対する共通理解を深められるよう取り組みました。
・外部より講師に来ていただき体操・和太鼓指導を実施し、日々の保育内容もより充実させ保護者からも好評の声が多く聞かれました。

3　職員の状況

職 名	平成28年4月1日の職員数					年間退任・就任									平成29年4月1日の職員数（常勤換算は3月分）						
	正規職員	有期契約職員			計	正規職員		有期契約職員						計	正規職員	有期契約職員				実人員合計	常勤換算
		契約職員	非常勤A	非常勤B				契約職員		非常勤A		非常勤B				契約職員	非常勤A	非常勤B	常勤換算		
						就任	退任	就任	退任	就任	退任	就任	退任								
園　長	1				1										1					1	
副園長	1				1																
保育士	17	1	1	5	24	3	2							5	20	1	1	3	1	25	
看護師	1				1										1					1	
栄養士	2				2										2					2	
調理員	2			1	3										2			1		3	
事務員	1				1										1					1	
嘱託医				2	2															2	
計	25	1	1	8	35	3	2							5	27	1	1	4		35	

＊　臨時職員の内、非常勤Ａは正規職員の所定労働時間と同じ労働時間で雇い入れられた時間給職員、非常勤Ｂは正規職員の所定労働時間より短い労働時間で雇い入れられた時間給職員です。

4　施設整備状況

今年度は、開園以来使用している遊具や部品の経年劣化による破損が多く、取り換えや入れ替えを行うとともに、セキュリティ強化としてセコムの導入を行いました。

・園庭遊具の購入、
・セコムの導入
・沐浴室の配線、事務所地下ピットのポンプ修理
・ガス点検「業務用自動ガス遮断装置」、経年劣化（15年経過）の為、取り換え
・給食室、洗浄機水漏れ修理

5　年間行事報告

月	日	行事内容	月	日	行事内容
4	1	入園式・進級式	11	14	おはなし会
	28	子どもの日を祝う会	12	3	すくすく発表会
5	12	幼児遠足（美しが丘公園）		7	療育相談
	24	内科健診		8	大根抜き

	25	尿検査		9	餅つき会
6	2	じゃがいも掘り（澤さんの畑）		17	育児講座（クリスマス制作）
	4	ふれあい祭り		22	お楽しみ会
	7	療育相談	1	12	だんご作り・どんど焼き
	8	シャボン玉ショー		27	おみせやさんごっこ
	9	歯科健診（嘱託医）		31	食べ物のひみつ
	16	プール開き	2	2	節分会
	23	歯磨き指導（看護師）		10	和太鼓演奏会
7	7	七夕会		13	絵本読み聞かせ
	9	育児講座（ボディペインティング）		14	子どものアトリエ（４・５歳児）
	22 ～ 23	お泊り保育（年長児）		18	卒園アルバム制作会（５歳児）
8	19	ボディペインティング	3	2	ひな祭り会
	25	ダンスレッスン（幼児）		4	新入園児説明会
9	14	敬老の日の集い（ハートフル）		9	ハートフル交流会（５歳児）
10	12	さつまいも掘り（澤さんの畑）		10	お別れ親子遠足（八景島）５歳児
	14	内科検診		18	卒園式
	15	運動会		31	進級式
	31	なかよしパーティーごっこ			
11	2	幼児遠足（野毛山動物園）			
	10	焼き芋会			

６　健康管理

・常勤の看護師を配置し、必要に応じて医療機関や関係機関と連絡を取り、お子さん一人ひとりの発育発達に合わせ、安全に過ごすことができる環境作りを行いました。
・保健の年間計画を基に、お子さんたちが健康な生活習慣を身につけ、体力づくりや自らの健康に関心を持って、病気の予防や体力増進に取り組めるよう、絵本や模型を使い日々の保育の中でわかりやすく指導していきました。
・予防接種のすすめや区からの感染症情報の掲示等、保護者に情報発信を行っています。
・全園児、スポーツセンターに加入し、園での病院受診の際に必要に応じて手続きを行いました。
・事故対応マニュアル・感染症マニュアルを作成し、全職員が同じ対応をできるよう、職員会議、日々のミーティングで周知・演習を行いました。

＊日々の業務
・登園時の視診
・看護師の健康観察（午前・午後）
・午睡後の検温（０，１歳児）
・午睡時のブレスチェック（０歳児…５分・１歳児…１０分）

＊年間保健行事（園児・職員）
＜園児＞

保健行事	実施日	対象年齢
内科健診　（年２回）	５月２４日　・１０月　４日	全園児

歯科健診　（年１回）	６月　９日	全園児
視聴覚検査（年１回）	６月	４歳児
尿検査　　（年１回）	５月２５日	４・５歳児
身体測定　（毎月１回）	毎月１５日頃	全園児
爪検査　　（週１回）	毎週月曜日	全園児

＜職員＞

採用前健診	採用時	新採用職員
定期健康診断（年１回）	７月～８月	全職員
細菌検査　　（月１回）	毎月	全職員
予防接種　　（年１回）	１０月～	全職員
健康チェック（毎日）	出勤時	全職員

７　食　事

・月に１度、給食会議を行い喫食状況、献立内容、提供した食事の感想、反省、改善点等を栄養士・主任・看護師・クラス主任・園長が話し合い、よりおいしい給食の提供に取り組みました。
・栄養士・看護師・保育士が連携し、食品群や栄養バランスについてわかりやすく説明し、自分たちの体について関心が持てるような取り組みを行いました。
・食事摂取基準を活用し、薄味・和食中心の献立を取り入れ安全でおいしい給食の提供を行いました。
・主治医の指示書に基づき、アレルギー児（卵）への除去食の対応を行いました。
・予定献立表（離乳食・完了食・未満児食・幼児食・おやつ・アレルギー児食・延長補食・夕食）の配布。
・離乳食は、保護者の方と連携を取りながら、移行表を基に発達に合わせて進めていきました。
・日々の離乳食・給食・おやつ・補食・夕食を給食室前のサンプルケースに一人分の量を展示し、園での食事量をわかりやすく伝えていきました。
・人気メニューや簡単レシピのプリントを用意し、家庭でのお子さんと保護者の食育につなげていきました。

８　衛生管理

＜保育室＞
・クローラ水を使用し、掃除やおもちゃの消毒を行っている。
・各保育室に加湿器と空気清浄機を設置
・玄関・保育室・ホールにアルコール手指消毒液を設置
・各クラスに嘔吐処理セットを設置しています。
・２か月に１度、園児の午睡用布団の乾燥を業者に依頼。

＜給食室＞
・衛生チェック票を作成し、日々衛生項目に沿って確認し作業を行った。
・調理室、ワゴン、冷蔵庫消毒
・食器洗浄後、熱風庫にて保管原材料・調理済み食品の保存（２週間）を行っている。

＜施設＞
・年に２回（春・秋）、害虫駆除の実施。

９　安全管理

・毎月１回（火災・地震・不審者・洪水等）色々な時間を想定し、抜き打ちで避難訓練を実施。
消火訓練も実施。
・年１回（９月の総合防災訓練時）引き渡し訓練の実施を行いました。
・遊具は、遊ぶ前に点検を行い、安全確認の実施。
・月１回、保育室・園庭・園舎周りの安全点検を行い、危険個所の確認、修理を行いました。
・防災設備点検の実施（年２回）１回は都筑消防署に届出しました。
特に問題はありませんでした。
・非常食糧の備蓄（全園児＋職員）×３食×（１日～３日）分

１０　特別保育の実施

＜一時保育事業＞
・１日に各クラス１名、生後 6 か月よりの受け入れを行いました。0，1 歳児の利用希望が多く、できるだけ大勢の方が利用できるよう調整しました。

＜延長保育事業＞
・支給・認定区分に応じた保育時間内にお迎えに来られない場合に必要に応じて保育支援を行いましした。夕方の延長に関しては補食・夕食の対応を行いました。

＜障害児保育事業＞
年長児に特別な支援が必要なお子さんがおり、関係機関・保護者の方と連携を取りながら、他のお子さんたちとの生活を通して、共に成長できるよう、保育支援を行いました。

＜療育相談＞
春と秋の 2 回、北部療育センターの方に来ていただき、気になるお子さんへの対応について教えていただき、職員会議で報告し、共通理解を図りました。

＜体操指導・太鼓指導＞（幼児クラス・年 10 回）
外部の講師をお願いし、年間プログラムにそって幼児クラスが行いました。運動会や発表会で、成長した姿をお見せすることができ、保護者の方からも継続の声をいただきました。

＜地域活動推進事業＞
＊世代間交流（都筑ハートフルステーション・横浜はつらつ・横浜ゆうゆう）
ふれあい祭りの共同制作、敬老の日の集い、年長児交流、散歩等、各クラスのお子さんたちが施設の利用者の方と年齢に合わせた形で世代間交流を行いました。

＊異年齢児交流
行事の際の卒園児との交流や近隣小学校の１年生・２年生・５年生と学校探検や保育園交流を行いました。

＊近隣の保育園との交流（やまた保育園・キッズフォレ・勝田保育園）
近隣保育園の交流は年長児が中心に行いました。各園とも、ひとクラスの人数が少ない為、小学校に向けて大きな集団での経験をすることができました。また、同じ小学校へ通うお子さんもいて、交流の中で仲良くなれたことは、小学校へ入ってからの安心感にもつながったようです

＊小学校との交流（中川小学校・勝田小学校）
春に中川小学校の２年生が来園し、年長児と交流を行いました。秋には１年生、５年生と交流し、小学校探検や秋祭りなどに参加し、期待を膨らませることができました。

＊姉妹園交流
横浜みなとみらい保育園５歳児、玉川保育園４歳児と交流を行いました。

＊実習生・中高生保育体験
養成校の学生をはじめ、夏休みに大学生・高校生のボランティア、中学生の職業体験などの受け入れを行いました。保育の仕事を経験し将来につなげてほしいと思います。

＊園庭開放・育児講座・育児相談の実施。

１１　保護者に向けて

・重要事項説明書について、前年度からの変更点について年度末のクラス懇談会で説明を行い、署名捺印をいただきました。また、新入園児は入園説明会の際に説明を行い、署名捺印をいただき、割り印押印したのち保護者・園で卒園まで保管します。
・緊急時防災メール・掲示板の利用登録をお願いし、毎月の避難訓練後に訓練の様子をテストメールとして発信しました。
・保護者アンケートを実施し、保育の質の向上・行事の見直し等に向け、保護者の意見を反映させました。
・各行事への参加のお誘いを行うとともに、日常の保育の様子もいつでも参観できるようよう声掛けしました。（年に2回、5月と10月に保育参観週間の機会を設けました）
・年度初め・年度末にクラス懇談会を実施。
・年1回、個人面談を行いました。
・保護者へのお知らせ
＜毎月1日発行＞
園だより　・クラスだより　・保健だより　・給食たより
＜月末に発行＞
献立表（離乳食・完了食・未満児食・幼児食・アレルギー児食・おやつ・補食・夕食）

１２　職員・園務

・連携のある小学校を中心に、卒園児がいる小学校の授業参観・運動会を参観に行き、連携を図りました。
・職員の処遇改善計画書の届け出を行い、職員に対して賃金の改善を図りました。

・産休・育休の取得・育児短時間勤務の職員がいること、また、外部への研修に参加してスキルアップをすることができるよう、配置基準よりも多めの職員を採用しました。
産休・育休　2名　　育児短時間勤務　2名　　新採用　3名
・市・区等の研修・4園の合同研修に参加し、スキルアップの機会を設けるとともに、研修してきた内容を職員会議で報告、共有し、日々の保育の中で実践しました。
また、法人として職種別・キャリア別研修を設け、次世代を担っていく職員の研修を行いました。
＊研修機関
法人全体研修
4園職員効果研修
横浜市子ども青少年局主催研修
白峰センター研修
市社協主催研修
都筑区主催研修
医師会主催研修
和太鼓研修
各自の希望参加研修
園内研修

１３　平成28年度研修内容

月　日	場　所	内容	主　催	人数
5月13日	都筑区役所6階	年長児担当アプローチプログラム	都筑区子ども家庭支援課	1名
5月25日	横浜市南公会堂	集団給食における衛生管理について	横浜市子ども青少年局	1名
6月20日	白峰保育センター	4，5歳児のクラス運営	横浜女子短期大学保育センター	1名
6月27日	横浜市技能文化会館	幼児保育・教育研修	横浜市子ども青少年局	1名
7月 4日	岩間市民プラザ	幼児保育・教育研修	横浜市子ども青少年局	1名
7月21日	フォーラム南太田	インクルージョン保育の実践	横浜市子ども青少年局	1名
7月26日	横浜女子短期大学	4・5歳児の遊びと環境	横浜女子短期大学保育センター	1名
7月26日	都筑区役所会議室	保育所保育指針（応答的関わりって何？）	都筑区子ども家庭支援課	1名
7月29日	横浜女子短期大学保育センター	幼児に教える防災・防犯	横浜女子短期大学保育センター	1名
8月2日	川和保育園	公開保育（子供に戻って遊びましょう）	都筑区子ども家庭支援課	1名
8月2日	都筑区役所	感染症対策指導者養成研修	都筑区保健センター	1名
8月3日	横浜女子短期大学保育センター	特別セミナー（リトミック）	横浜女子短期大学保育センター	1名
8月4日	横浜女子短期大学保育センター	特別セミナー（わらべうた）	横浜女子短期大学保育センター	1名
9月6日	仲町台地区センター	ほいくえん広場	都筑区こども家庭支援課	1名
9月16日	横浜女子短期大学保育センター	職場のメンタルヘルス対策	横浜女子短期大学保育センター	1名
10月 5日	北とぴあ	乳幼児の食べる機能と行動発達	新医協　東京支部	1名
10月14日	北とぴあ	排泄の仕組みとトイレットトレーニング	新医協　東京支部	1名
10月28日	横浜女子短期大学保育	食物アレルギーの理解と予防	横浜女子短期大学保育センター	1名

	センター			
11 月 1 日	都筑区役所	わらべうた遊び・手遊び	都筑区子ども家庭支援課	1 名
1 月 20 日	勝田保育園	公開保育（わらべうた）	都筑区子ども家庭支援課	1 名
2 月 1 日	関内ホール	保育・教育理念講座	横浜市子ども青少年局	1 名
2 月 2 日	健康福祉センター	東日本大震災を経験して 大切な命を守るために	横浜市私立保育園園長会	1 名
2 月 7 日	保土ヶ谷公会堂	乳児食講習会	横浜市子ども青少年局	1 名
毎月第３ 木曜日	茅ヶ崎保育園	和太鼓研修	打鼓音	3 名
10 月 17 日 ～ 24 日	玉川保育園	職員交換研修（1 歳児）	法人	1 名
4 月 29 日	横浜みなとみらい保育園	4 園合同研修	法人	19 名
年 6 回	ハートフル会議室	キャリアアップ研修	法人	3 名

１４　その他

・横浜市の指導監査（実地）を受け、保育の見直しを行い各種研修に参加しながら、職員の資質向上につながるよう努めました。
・福利厚生として福祉医療機構退職金制度・横浜市勤労者福祉共済（はまフレンド）に加入しています。

平成28年度　千丸台保育園　事業報告

千丸台保育園 定員１００名　（在籍１０５名）

１　施設運営状況

入所状況については、ほぼ安定した状況の中で施設を運営することができました。

２か年に渡る増築・修繕工事が終わり新しい環境の中、快適に過ごしています。また工事中は昼食を外部へお弁当発注していましたが、8月より給食室が再開し、温かくておいしい給食を提供できるようになりました。

今回の増築工事では、待機児解消のため1歳児の保育室を広げ定員増をして受け入れをしています。また定員外の受け入れもしており乳児クラスは空きのない状況です。

引き続き地域に根差した保育園を目標とし、園庭開放や育児相談・交流保育等の充実を意識して行うことが出来ました。また一時保育も各クラスへの受け入れですが、月平均30名程度の利用でした。その都度一時保育登録も受け付けました。

保育の資質向上につながるように横浜市や保土ヶ谷区主催の外部研修や職員会議の際に行う園内研修で、職員一人ひとりの意識や知識を広げるよう努力し、日々の保育に活かしていきました。

人材育成では、新卒者の雇用が出来ず職員補充が出来ていない状況です。正規職員の雇用には至りませんが、非常勤保育士を採用し、体制の工夫をしながら保育出来ました。

【年間利用状況】（各月月初人員）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10月	11月	12月	1 月	2 月	3 月	計	平均
男児	53	54	54	54	54	53	53	53	53	53	53	53	640	53
女児	50	51	51	51	51	51	53	53	53	53	53	52	622	51.8
計	103	105	105	105	105	104	106	106	106	106	106	105	1262	105

【利用者状況推移】（各年度３月１日現在）

年　度	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	計
２４年度	１０	１３	１７	１７	１９	２１	９７
２５年度	１１	１３	１７	１７	１８	１９	９５
２６年度	１１	１３	１７	１７	１９	１７	９４
２７年度	１０	１３	１７	１６	２０	１９	９５
２８年度	１１	１４	１８	２０	２１	２１	１０５

２　利用者支援状況

7月末より新しい園舎に引っ越しをし、少しずつ環境を整備していきました。広いスペースになり子どもたちが安定し、快適に過ごすことが出来ました。

『思いやりのあるたくましい子どもの育成』を目標に心も体も丈夫に成長していく支援を心がけ保育をしていきました。その中には、人との関わりを大切に異年齢で交流をしたり菜園活動で土に触れる経験をしたりしました。いろいろな経験を通して得意な事や好きな事を見つけ充実した日々を過ごせるように取り組みました。

外部講師として『体操教室』『お習字』の依頼をしており子どもたちは楽しみながら取り組んでいます。

また保護者との信頼関係を築けるようコミュニケーションを密に心がけていきました。年度末には、保育園に関するアンケートを実施しいろいろなご意見の中に改善点などを見いだし次年度へつなげていきたいと思います。

３　職員の状況

職 名	平成28年4月1日の職員数					年間退任・就任									平成29年4月1日の職員数（常勤換算は3月分）						
	正規職員	有期契約職員			計	正規職員		有期契約職員						計	正規職員	有期契約職員				実人員合計	常勤換算
		契約職員	非常勤A	非常勤B				契約職員		非常勤A		非常勤B				契約職員	非常勤A	非常勤B	常勤換算		
						就任	退任	就任	退任	就任	退任	就任	退任								
園　長	1				1										1					1	1
副園長				1	1															0	0
保育士	18			7	25		2					1	1		18			9	4.2	27	22.7
看護師	1				1	1									1					1	1
栄養士	1				1										2					2	2
調理員	2			1	3	2									2			3	1.7	5	3.7
事務員	1				1										1					1	1
嘱託医																				0	0
計	24				33	3	2					1	1		25			12	5.9	37	

＊臨時職員の内、非常勤Ａは正規職員の所定労働時間と同じ労働時間で雇い入れられた時間給職員、非常勤Ｂは正規職員の所定労働時間より短い労働時間で雇い入れられた時間給職員です。

４　施設整備状況

平成27・28年度の2か年に渡り増築・その他工事を行いました。
保育をしながらの工事でしたが、職員の工夫や提案などで保育環境を整えることができ、怪我なくすすめる事が出来ました。
平成28年7月末より新園舎での保育になり8月より給食室の稼働が始まりました。
＊主な工事内容＊

●増築・・・別棟(2階建て)
0歳児ウッドデッキ
1歳児保育室
2歳児保育室
給食室・前室
事務所
倉庫
相談室

●防犯カメラの設置(3台)
●LED設置
●フローリング貼り替え・天井貼り替え
●正門(斜面の修正)
●裏門(入口幅拡大)
●園舎裏舗装

5　年間行事報告

月	日	行事内容	月	日	行事内容
4	1	入園式・進級式	10	29	ランチバイキング（試食会）
	26	茶摘み体験	11	2	がやっこドッヂボール大会
	28	こども日を祝う会		7	やきいも会
5	17	内科健診		10	人形劇
	24	がやっこスポーツフェスタ		21	大根抜き
	26	サツマイモ苗植え	12	3	お楽しみ会
6	9	歯科検診		21	おもちつき
	27	じゃがいも堀り		22	クリスマス会
7		七夕の会	1	12	お正月遊び・ししまい
	29～30	おとまり保育		24	がやっこお正月あそび
8	12～15	夏期合同保育	2	3	節分の会
	26	夏祭り		13～16	お店屋さんごっこ
9	5	大根種まき	3	2	じゃがいも種いも植え
	6	プール納め		3	ひなまつりの会
	16	敬老の日の会		3	大きくなったねの会
10	8	運動会		7	ログハウス
	21	園外保育		9	お別れ遠足
	25	内科健診		22	第１３回卒園式
	26・27	さつまいも堀り			

＊誕生会(毎月)
＊体操教室(幼児)月 2 回金曜日
＊おはなし会(幼児)月 1 回
＊リズム遊び(幼児)週 1 回
＊お習字(5 歳児)月 1 回

＊新井小学校・白根保育園との交流
＊世代間交流(ケアプラザ)
＊地域交流
＊布団乾燥(2 ケ月に１回)
＊害虫駆除(年２回)
＊個人面談

６　健康管理

園児は内科健診(年２回)・歯科健診(年１回)。視聴覚検査(４歳児・年１回)・尿検査(４・５歳児・年１回)を実施した。また全園児対象に身体測定(月１回)、爪検査・頭髪検査を(毎週１回月曜日)行った。

職員は定期診断(年１回)及び全職員の細菌検査(毎月)を実施した。また毎日『健康チェック表』に記入し、職員の体調を把握し健康管理に努めた。

感染症発生時は、早めに保護者へ周知し感染が拡大しないように手洗いの励行など予防に努めた。

７　食　事

すべての活動の源となる大切なものと認識し、安全でおいしい給食を目指しており、和食を中心とした献立を取り入れている。

栄養士が献立を作成し、完全給食の実施。保護者の方へは、毎月末に翌月の献立表を配布している。

食事形態は離乳食（５～６か月食・７～８か月食・９～１１か月食）
１２～１８か月食
未満児食
幼児食

＊歴に合わせて、行事食を取り入れ食事の楽しさを伝えている。
＊アレルギー疾患生活管理指導表」の提出に基づき、アレルギー食の対応をしている。
＊保育時間に応じて補食・夕食の対応を行っている。
＊当日の給食（離乳食・昼食・おやつ・補食）をサンプルケースに掲示している。
＊栄養士による食育指導を定期的に行っており、衛生面の大切さや噛むことの大切さなどわかりやすく伝えている。

８　衛生管理

衛生面では、玩具の消毒・掃除はクローラ水(次亜塩素酸)を使用し、安全・清潔に保てるようにした。

保護者の方には保育室入室の際、手洗い・うがいをしていただき、感染症予防に努めている。

各保育室には空気清浄器を設置し、冬は湿度を保つために加湿器を設置している。

９　安全管理

毎月『安全点検表』で保育室・園庭の危険個所を点検し、危険個所について早急に対応してる。

横浜市交通局の指導を依頼し、交通ルールの約束事など保育の中でも分かり易く子どもたちに伝える事が出来た。

修繕工事に伴い防犯カメラ３台(園庭・裏門・正門)の設置をし、安全対策をおこなった。

防災訓練　：毎月１回避難訓練(地震・火災・防犯・停電)、消火訓練、スミスライト訓練、通報訓練を実施した。

１０　特別保育の実施

＜地域交流＞

地域に根差した保育園を目指し、園庭開放や育児相談をおこなった。また、園の行事に参加していただいたり、園児との交流保育で米粉粘土体験したり楽しみながら　交流を深めた。

育児講座では、毎年好評の『ベビーマッサージ』をおこなった。外部講師の方に依頼し、愛着の大切を伝えながら和気あいあいと行うことができた。

＜実習生・ボランティア＞

【実習生】

＊　聖ヶ丘教育専門学校２年生　　実習日数 11 日間　１名
＊　相模女子大学３年生　　実習日数 12 日間　１名
＊　東京福祉大学４年生　　実習日数 12 日間　１名
＊　聖ヶ丘教育専門学校１年生　　実習日数 11 日間　１名

【ボランティア】

＊　夏祭り　　白山高校

１１　保護者に向けて

＊年２回クラス懇談会を実施しており、年度始めには保育目標を踏まえ１年間のねらいの説明を行っている。また、年度末には、１年の振り返りと進級・就学に向けての話し合いの場を設けている。

＊28 年度は給食室も工事中であったため、おやつ試食会は行わず、昼食試食会のみ行った。ねらいとしては、保護者の方にも保育園の味付けや食材の切り方など知っていただくために行っており、好評を得ている。

＊保育参観・保育参加も行っており、保育園でのお子さんの様子を見ていただくことや、実際に保育に参加していただいたりした。また、希望者には個人面談をし、悩みや相談を受けアドバイスしたり保育園での子どもの様子を伝えたりして成長を分かち合えるようにしている。

＊年度末には、『保育（園）に関するアンケート』を実施し、保育を見直している。保護者のニーズに応えられるよう改善できる点を話し合い来年度の保育につなげていけるようにしている。

＊保護者の方とは、コミュニケーションを取るように心がけ、信頼関係を築けるように努めている。

１２　職員・園務

＊年２回、地域指導者交流会に参加し、地域の関係機関との顔の見える関係づくりを行った。
＊職員は、保育の質の向上の為、横浜市や保土ヶ谷区主催の研修を受講した。研修報告をし、日々の保育に活かしている。

１３　平成２８年度研修内容

月日	内容	主催	人数
4 月 22 日	幼保小接続期研修会	横浜市	1 名
4 月 29 日	法人 4 園合同研修	長幼会	1 名
6 月 3 日	自閉症スペクトラム障害の理解	横浜市	1 名
8 月 19 日	てんかん基礎講座	玉川保育園	2 名
9 月 6 日	保土ヶ谷区合同育児講座	保土ヶ谷区	1 名
9 月 9 日	横浜市 18 区合同研修	横浜市	3 名
10 月 27 日	子どもの理解に基づいた幼児期から小学校への円滑な接続	保土ヶ谷区	1 名
1 月 7 日	アレルギー児童緊急対応研修	横浜市	2 名
1 月 10 日	実習指導者研修	横浜市	1 名
1 月 13 日	保育所におけるアレルギー疾患講習会	横浜市	1 名
1 月 24 日	児童虐待	保土ヶ谷区	1 名
2 月 7 日	乳児食講習	保土ヶ谷区	1 名
2 月 16 日	アレルギー研修	横浜市	1 名
2 月 22 日	食品衛生責任者　指定講習会	保土ヶ谷区	1 名
3 月 2 日	保育福祉部会　給食研究会	横浜市	1 名

平成 28 年度　横浜みなとみらい保育園　事業報告

定員１２０名　（在籍１３０名）

１　施設運営状況

昨年度に引き続き、定員の８％増の弾力化を行い、待機児解消に努めました。また、保護者のニーズを受け延長保育（朝　30分、夕方2時間半）を実施し、保護者の就労支援に努めるとともに、延長保育の中で安心して子どもたちが過ごすことができるよう環境整備等配慮しました。なお、一時保育も生後六か月から就学時までのお子さまを最大11時間受け入れる体制を整え、年間延べ人数3036名、月平均253名の方が利用されました。

また、保護者アンケートを実施し、その結果等から課題分析をし、サービスの改善につなげました。

地域との交流では、園庭開放や育児相談、交流保育等で子育て支援を行うとともに、近隣の小学生、中学生、高校生の育児体験受け入れなど世代間、異年齢児交流に努めました。

地域との関わりにおいては、地域公私立保育園交流、幼保小交流、町内会行事への参加、出前保育、体験保育、育児講座に積極的に努め、保育所の役割発揮につなげることができました。

職員育成では、研修に積極的に参加し、それを園内で伝え合うことで、資質の向上に努めました。

【年間利用状況】（各月月初人員）

	4 月	5 月	6月	7 月	8 月	9 月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平　均
男児	54	54	54	54	53	53	53	53	53	53	53	53	640	53
女児	76	76	76	76	77	77	77	77	77	77	77	77	920	77
計	130	130	130	130	130	130	130	130	130	130	130	130	1560	130

【利用者状況推移】（各年度３月１日現在）

	0歳児	１歳児	２歳児	３歳児	４歳児	５歳児	計
２４年度	２０	２２	２３	２３	２３	２３	１３４
２５年度	２０	２２	２３	２３	２３	２３	１３４
２６年度	２０	２２	２３	２３	２３	２２	１３３
２７年度	２０	２２	２３	２３	２２	２３	１３３
２８年度	２０	２２	２３	２３	２０	２２	１３０

２　利用者支援状況

「思いやりのある　たくましい子どもの育成」を保育目標に、身体を使った遊びやクッキング、今年度より実施した2歳児から年長児の英語指導など様々な活動を取り入れる中で、一人ひとりが自分の力を十分に発揮し、仲間と育ち合えるよう努めました。

また、自発性・知的好奇心を育てるために、大人が先廻りしすぎず、見守ることを職員間で意識統一していくと共に懇談会等の機会を通して保護者にも伝えていきました。

グループでの話し合いを通して自分たちで作り上げる経験を意識して取り入れていく中で、

子どもたちの達成感や自信につなげていきました。
　３時間延長保育の実施に伴い、延長保育の子がゆったりと過ごせる環境作りや保護者との連携に配慮しました。職員間では、マニュアル作りや連絡事項の徹底を行い、サービスの質の向上に努めました。また、保育参加を積極的に取り入れ、保護者との共通理解につなげていきました。
　保育学校の実習生、近隣中学の保育所体験を積極的に受け入れました。

３　職員の状況

職 名	平成28年4月1日の職員数					年間退任・就任									平成29年4月1日の職員数（常勤換算は3月分）						
	正規職員	有期契約職員			計	正規職員		有期契約職員						計	正規職員	有期契約職員				実人員合計	常勤換算
		契約職員	非常勤A	非常勤B				契約職員		非常勤A		非常勤B				契約職員	非常勤A	非常勤B	常勤換算		
						就任	退任	就任	退任	就任	退任	就任	退任								
園長	1				1									0	1					1	1
副園長	1				1										0						0
保育士	29	2		14	45	5	3	2	1	0	0	1	3		30	2		13	5	45	37
看護師	1				1										1					1	1
栄養士	1				1										1					1	1
調理員	3			2	5	1	1					1		6	3			3	2	6	5
用務員	0				0										0					0	0
事務員	1				0										1					0	0
嘱託医	0			2	2										0			2			
計	37			18	56	6	4	2	1	0	0	2	3	6	37	2	0	18	7	54	45

４　施設整備状況

・セキュリティーカメラの増設
・スチームコンベンションの入れ替え
・ピクチャーレールの整備

５　年間行事報告

月	日	行事内容	月	日	行事内容
4	1	入園式	10	8	運動会
	2	さくらフェスタ参加（５歳児）		12	芋ほり（4・5 才児）姉妹園交流
	25	横浜消防音楽隊演奏会		26	芋ほり（4・5 歳児）姉妹園交流

	28	子どもの日を祝う会		31	わいわい仮装パーティー
		懇談会（各クラス）	11	6	西区民まつり参加（5 歳児）
		誕生会（毎月）		11	秋の園外保育（幼児）
		避難訓練（毎月）			英語指導（2～5 歳児）月 1 回
		春の園外保育（幼児）			保育参観週間（全クラス）
5		さつま芋の苗植え（5 歳児）	12	10	発表会
		園児内科健診（月２回）		16	もちつき会
		尿検査（４・５歳児）		20	うどん作り
6	6	園児歯科健診		22	お楽しみ会
	8	プール開き	1	6	お正月遊びの会
	24～25	お泊り保育（５歳児）		13	繭玉団子作り（２～５歳児）
		保育参観・試食会（各クラス）		17	ハーモニカ演奏会
		歯磨き指導（３～５歳児）			懇談会（５歳児）
		赤染体験（３～５歳児）	2	3	節分会
7	15	夏まつり		24	お別れ遠足（5 歳児親子）
9	1	総合防災訓練		25	入園説明会（新入園児）
10	4	平沼水天宮例大祭子ども神輿	3	3	ひな祭り会
	16	敬老の日を祝う会		18	第 9 回卒園式
	12	人形劇鑑賞		31	進級式

※＊防災訓練 毎月１回（避難訓練、消火訓練、通報訓練）実施

6　健康管理

＊園児・職員の定期診断及び全職員の細菌検査を毎月実施した。
＊給食職員にはノロウイルスの細菌検査を別途実施した。
＊職員のインフルエンザ予防接種の実施
＊健康管理には最善の注意を払い、感染症については保護者にも周知することで、拡散は防げた。

7　食　事

＊＜おいしく　たのしく　げんきになろう＞を給食目標に掲げ、子どもたちが健やかに育つために年齢（月齢）や成長に応じて、栄養士がたてた献立による完全給食を実施している。
＊アレルギー児への除去食の提供、３歳児以上の子どもたちへの主食の提供や、延長保育を利用する児には補食や夕食の提供も行っている。
＊食に興味を持てるようにクッキング保育やプランター栽培、また、４・５歳児は姉妹園への収穫体験等の食育活動を行っている。

8　衛生管理

＊危険箇所、施設の衛生管理についての点検整備を行った。

9　安全管理

＊交通安全教室を行ない関係機関と連携を取ることが出来た。
＊警察署と連携を図り、誘拐防止講座の実施。
＊消防計画や避難確保計画（洪水）の作成及び備蓄品の確保。

１０　特別保育の実施

＜地域活動推進事業＞

＊夏祭りには地域の親子も招待し一緒にお祭りを楽しんでいただいた。また、地域のお祭りの際には保育園の子どもたちも参加させていただき、町内の山車を引いたり、園で作った子ども神輿も担がせていただいた。

＊敬老の日を祝う会では祖父母を招待し、ふれあい遊び等の交流会を今年も実施した。

＊子育て講座や保育園の行事に積極的に参加を呼び掛けて、地域交流を行なった。

＊実習生・ボランティア保育体験

・ 短大の受入校（６校）実習実日数（１０日）実人員１６名
・ 専門校受入校（２校）実習実日数（１０日）実人員　２名
・ 専門校受け入れ（３校）見学実習（　１日）実人数　４名
・　ボランティア 夏祭り等の行事にて 実人員 ９名

１１　保護者に向けて

＊保育園の活動をより保護者に知っていただくために、園だよりや保健だより、給食だより、献立表等各種おたよりを毎月配布。
＊育児講座の開催
＊各種行事へのお誘い
＊ホームページや掲示板の開設
＊苦情解決委員会の設置
＊保護者アンケートを実施し、利用者の要望を把握し、保育園運営に反映するよう努めている。
＊中央図書館の協力を得て、貸出図書の実施。

１２　職員・園務

＊有志職員が地域消防団に加入し、自園の防災力を高めることはもちろん、地域の防災力を高めること、地域の方との結びつきに努めている。
＊地域出前講座への参加
＊幼保小交流
＊自治会への参加
＊西区行事への積極的参加
＊西区園長会・子育て支援会議に参加

１３　平成２８年度研修内容

平成28年度　研修実施記録

日時	場所	時間	内容	主催	参加人数
5/7（土）	港勤労福祉会館	13:30-16:30	子どもは親を選んで生まれてくる 体内記録から考えられる子育てについて	田口教育研究所	1
5/19(木)	南浅間保育園	17:45～20:15	保育を楽しむおはなしあそび・わらべうた研修	南浅間保育園	2
7/22(金)	横浜短期大学　白鵬センター	14:00～16:00	幼児期に大切にしたい脳の育ち～心と体を育むために～	横浜短期大学保育センター	1
7/25（月）	横浜短期大学　白鵬センター	10:00～12:00 13:00～15:00	乳児保育講座	横浜短期大学保育センター	1
8/1（月）	横浜市技能文化会館	10:30～16:15	子育て支援研修	神奈川県　次世代育成課調整グループ	1
8/8（月）	横浜市技能文化会館	10:30～16:15	子育て支援研修	神奈川県　次世代育成課調整グループ	1
8/5（金）	横浜短期大学　白鵬センター	10:00～12:00 13:00～15:00	特別セミナー（表現活動）	横浜短期大学保育センター	1
8/6（土）	横浜市技能文化会館	10:30-15:30	2016幼児保育音楽研修会	幼児保育音楽研修会	1
8/19（金）	玉川保育園	18:00～20:30	てんかん講座	玉川保育園	3
9/2(金)	波止場会場	10:30～16:15	子育て支援研修	神奈川県　次世代育成課調整グループ	1
9/5(月)	波止場会場	10:30～17:15	子育て支援研修	神奈川県　次世代育成課調整グループ	1
9/5（月）	横浜短期大学　白鵬センター	10:00～12:00 13:00～15:00	乳児保育講座	横浜短期大学保育センター	1
9/8（木）	中区役所本館7階会議室	14:30～16:30	生活習慣病予防や腸内環境を整えるために給食施設でできる～慈誠会医科大学付属病院の取り組み～	西区福祉保健センター福祉保健課健康づくり係	1
9/9（金）	神奈川公会堂	18:30～20:30	ケロポンズ	横浜市18区合同研修	2
9/10（土）	神奈川公会堂	13:30～15:30	ケロポンズ	横浜市19区合同研修	2
9/20（火）	波止場会場	10:30～17:15	子育て支援研修	神奈川県　次世代育成課調整グループ	1
9/26（月）	横浜短期大学　白鵬センター	10:00～12:00 13:00～15:00	乳児保育講座	横浜短期大学保育センター	1
9/29（木）	磯子公会堂	14:00～17:00	乳幼児保健研修	横浜市こども青少年局	1
9/30(金)	波止場会場	10:00～17:45	子育て支援研修	神奈川県　次世代育成課調整グループ	1
10/6(木)	AP横浜西口　4階	14:00～16:00	ノロウィルス予防体感セミナー	ダスキン	1
10/17（月）	アートフォーラムあざみ野レクチャールーム	14:00～17:00	カウンセリングマインド	こども青少年局	1
10/17（月）	横浜短期大学　白鵬センター	10:00～12:00 13:00～15:00	乳児保育講座	横浜短期大学保育センター	1
10/18(火)	波止場会場	10:00～17:30	子育て支援研修	神奈川県　次世代育成課調整グループ	1
10/26(水)	関内ホール　大ホール	14:00～17:00	保育・教育職員人権研修	横浜市こども青少年局	1
10/28（金）	横浜短期大学　白鵬センター	10:00～15:30	食物アレルギーの理解と予防	横浜短期大学保育センター	1
11/4(金)	横浜短期大学　白鵬センター	10:00～12:00 13:00～15:00	乳児保育講座	横浜短期大学保育センター	1
11/11（金）	神奈川公会堂	18:30～20:30	ケロポンズ	横浜市19区合同研修	2
11/21（月）	横浜短期大学　白鵬センター	10:00～15:00	0歳児の発達特徴	横浜短期大学保育センター	1
11/28(月)	フォーラム （男女共同参画センター横浜）ホール	14:00～17:00	看護職等研修	横浜市こども青年局	1
12/12（月）	南浅間保育園	11:30～12:15	こどもと絵本～絵本の楽しみ方、遊び方～	西区子育て関連施設研修	1

平成28年度　玉川保育園　事業報告

玉川保育園 定員１３５名　（在籍　135　名）

１　施設運営状況

入所状況については、年度途中に2歳児、0歳児の転園があったが入所もすぐに決まり安定した施設運営することができました。

家庭的保育連携事業では家庭的保育室に給食の提供を実施することになり、4月からの実施のために川崎市、家庭的保育室やまんちと準備をする。4月から給食の提供を開始し、川崎市の保育園の中でモデル園となる。

玉川地区わいわいクラブに派遣保育に出かけ、今年度は看護師、栄養士が講師として参加し地域の方にとても好評であった。

一時保育事業では地域未就園児を年間2,001名受け入れ、延長保育では２０ 時までの延長保育を行いました。

【年間利用状況】（各月月初人員）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10月	11月	12月	1 月	2 月	3 月	計	平均
男児	66	66	66	66	6４	64	64	64	64	64	64	64	780	65
女児	70	69	69	69	69	69	71	71	71	71	71	71	841	70
計	136	135	135	135	135	135	135	135	135	135	135	135	1621	135

【利用者状況推移】（各年度３月１日現在）

年　度	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	計
２４年度	9	23	25	26	26	26	135
２５年度	9	22	25	26	25	26	133
２６年度	9	24	26	26	24	26	135
２７年度	9	24	25	26	26	24	134
２８年度	9	24	25	26	26	25	135

２　利用者支援状況

朝7時から夕20時まで13時間の開所時間の中、育休明けからの長時間保育を利用する子どもが増えてきている。延長時間は子どもたちが不安にならないよう、正規職員の他に地域の保育補助の方に子どもたちが家庭的雰囲気の中、お迎えまで過ごせるよう対応しました。

玉川保育園の「あこがれを持つ保育」「テーマを持った保育」を実践し、新年度から❝ともだち❞をテーマに子どもたち、そして保護者を巻き込んで年間を通してストーリーを展開し進めていきました。

地域の玉川小学校、玉川中学校、橘高校の体験学習の受け入れや、デイサービスのお年寄りとの交流、近隣保育園との交流等様々な人とのふれあい交流を通して、互いを思いやる力が子どもたちの中で育ってきました。

個別対応が必要な子どもについては専門機関との連携を図り、保護者との信頼関係を築きながら、子どもに対する共通理解を深められました。集団の中で他児と一緒に過ごすことや個別で対応することでしっかり対応することができた。

保護者会と連携を取り、保護者会主催行事や園との共催行事も円滑に進行で来た。28年度はバザーの収益金の他、保護者会から寄付を頂き、園庭で子どもたちが遊ぶ稼働遊具を購入。園庭での遊びも広がり子どもたちも喜んで日々遊んでいる。

看護師・栄養士・保育士の三者連携保育を行い、子どもたちに健康や安全、栄養についての話をし、年間計画を立て実施。保育の中で子どもたちのために様々なテーマを決め三者で協力しながら連携保育を展開していくことができた。

３　職員の状況

職 名	平成28年4月1日の職員数					年間退任・就任									平成29年4月1日の職員数（常勤換算は3月分）						
	正規職員	有期契約職員			計	正規職員		有期契約職員						計	正規職員	有期契約職員				実人員合計	常勤換算
		契約職員	非常勤A	非常勤B				契約職員		非常勤A		非常勤B				契約職員	非常勤A	非常勤B	常勤換算		
						就任	退任	就任	退任	就任	退任	就任	退任								
園　長	1				1										1						
副園長																					
保育士	20			17	37	1	4					1	1	7	18			16	2	34	2
看護師	1				1										1					1	
栄養士	2				2										2					2	
調理員	2				2										2					2	
事務員	1				1										1					1	
嘱託医																					
計	27			8	44	1	4					1	1	7	25			16		40	2

＊臨時職員の内、非常勤Ａは正規職員の所定労働時間と同じ労働時間で雇い入れられた時間給職員、非常勤Ｂは正規職員の所定労働時間より短い労働時間で雇い入れられた時間給職員で

４　施設整備状況

園舎入り口傘立ての改修工事、保護者自転車置き場のライトの設置、一時保育の受け入れ枠が増えたためロッカー等の備品整備を行う

5　年間行事報告

4.5　はじめまして集会
4.6　お花見会食
4.28　こどもの日集会
5.14　懇談会・試食会
5.16　さつまいもの苗植え
6.1　歯科検診
6.15　たんぽぽひろば（育児講座）
6.17　プール開き
6.30　なかはらっ子シアター（5 歳児）
7.26　玉川小学校教諭初任者研修
7.26　橘高校学生体験学習
8.26　お泊り保育
8.3　デイサービスゆうらく交流
8.19　園内研修　てんかん講座
9.3　ひまわり会バザー
9.9　プール納め
9.20　デイサービスゆうらくとの交流
10.14　運動会
10.17　幼児バス遠足（ズーラシア）
10.20　玉川小学校内デイサービスとの交流
2.24　玉川小を紹介する会
3.3　ひなまつりの会
3.5　第 5 回卒園式
10.25　バルーンショー
11.2　歯科検診
11.4　お芋の会
11.5　親子で遊ぼう会
11.10　保育まつり（5 歳児）
11.12　たんぽぽひろば（育児講座）
12・6～9　お楽しみ週間
12.9　観劇　ひとみ座
12.10　5 歳児懇談会
12.12　移動動物園
12.16　おもちつき
1.19　観劇　おと絵がたり
1.28　0～4 懇談会
2.3　節分の会
2.4　チャイルドフェスティバル
2.9　玉川中学校 2 年生職業体験
2.10　玉川小学校内デイサービスとの交流
2.15　入園前健診
2.17　年長交流会
2.18　一時保育説明会・入園説明会
3.17　お別れ遠足
3.23　ミニ音楽会
3.30　お別れ会・進級式

6　健康管理

・4 歳児視聴覚検査の実施
・除去食・与薬児の川崎市入所児童健康管理委員会への申請書の見直し。
・嘱託医による定期健康診断、プール前健診、年 2 回の歯科検診
・全職員、年 1 回健康診断・毎月細菌検査を実施。
・感染症発生時は保護者にも周知し、玩具の消毒など感染症が拡大しないよう衛生面に留意した。
・感染症発生時は感染症情報収集システム（サーベイランス）を入力し、川崎市・中原区の保健所と連携をとり感染拡大防止に努めた。

7　栄養管理

＊1 週目食べられなかった食材を翌週は少しでも食べられるように 2 週間サイクルの献立表を実施。
＊給食の年間計画に基づき、楽しく食事をし、健康な体を身につける。
＊栄養士・調理師による年間を通した食指導や食事の発達と指導ポイントを基に、栄養士・調理師・保育士が連携を取り、年間を通した食事指導を行うことができた。

８　衛生管理

＊施設の衛生管理についての点検・整備・害虫駆除を行った。

９　安全管理

＊防災訓練 毎月１回避難訓練、消火訓練、通報訓練の実施。
＊園舎・園庭の月１回の安全点検
＊月 1 回の事故チェックリストでの危険事項の確認・ヒヤリハットの書き出し職員に周知。
＊交通安全教室を行ない関係機関と連携を取ることが出来た。
＊水の事故予防の為、プール時監視員の設置
＊SIDS 予防のため、午睡時タイマーによる午睡チェックの実施。

１０　特別保育事業の実施

＜地域活動推進事業》
＊地域保育園と年間を通して５歳児が交流
＊ゆらく・玉川小学校内デイサービスの高年齢者との交流。敬老の日は園児祖父母、玉川小学校内デイサービス高年齢者を保育園に招待し園児と交流を深めた。
＊園庭開放、移動動物園、運動会、観劇等地域の親子を招待し交流を深める。
＊月１回の地域親子向けの子育てひろばの開催、年２回の育児講座の開催。玉川地区わいわいひろばへの保育士の派遣保育を実施し、地域親子との交流を深める。
＊11 月から２月の期間、地域親子向けに保育園の体験保育を実施。

＜一時保育事業＞
＊年間を通して緊急一時・非定型利用で延べ 2,000 人の方に利用いただいた。
＊一時的な利用だけではなく、区の児童家庭課から地域親子の見守りが必要な家庭の利用も受け入れを行った。

＜障害児保育事業＞
＊２歳児重度、３歳児中度、４歳児軽度の受入れを実施。関係機関、家庭と連携を取りながら指導計画を立て保育を進めている。

＜家庭的保育事業＞
＊家庭的保育室「やまんち」の連携保育園として、交流保育・合同内科健診・歯科検診・代替保育を実施。

＜実習生・ボランティア・職業体験受入れ＞
＊短大の受入校（３校）実習実日数（１０日）実人員３名
＊橘高校・玉川中学校・玉川小学校の職業体験の受け入れ
＊橘高校生ボランティア　８名受け入れ

１１　保護者に向けて

＊保護者会会長、役員を中心に年間の行事を円滑に行うことができた。
＊保護者会から寄附を頂き、園庭の移動遊具を購入し、園庭遊びの幅が広がり子どもたちも工夫しながら楽しんで遊ぶことができている。

１２　職員・園務

＊各会議を通して、おおむね年間の行事計画書通りに行うことができた。
＊産休・育休に入る保育士が２名出たことから、職員体制が大変であったが職員の協力を得る中で対応が図れた。

１３　平成２８年度研修内容

月日	場所	内容	主催	人数
4 月 19 日	高津区役所	保育者のためのリスクマネージメント	高津区地域みまもりセンター	1 名
5 月 31 日	白峰保育センター	カウンセリングを活かした保護者対応講座	白峰学園横浜女子短期大学保育センター	1 名
6 月 4 日	新医協	子どもの言葉	新日本医師協会東京支部	1 名
6 月 2 日	川崎市役所	保育園における食物アレルギー児の対応とエピペンの使い方	川崎市こども未来局子育て推進部	1 名
6 月 2 日	川崎市社会福祉協議会	ディズニー夢への挑戦！人生を切り開くのは明確なビジョンと自分自身の情熱	川崎市社会福祉協議会	1 名
7 月 29 日	川崎市総合福祉センター	運動会に間に合う！子どもたちが楽しめる縄遊び	NPO 法人グローイン・グランマ	1 名
8 月 25 日	白峰保育センター	保育素材簡単手作りおもちゃ	白峰学園横浜女子短期大学保育センター	1 名
9 月 16 日	川崎市役所	保育園職員が手に入れたい「まなざし」「子どもの命を真ん中に」すえた保育	川崎市こども未来局子育て推進部	1 名
10 月 12 日	川崎市役所	「共に育つ力を育む保育」	川崎市こども未来局子育て推進部	1 名
11 月 30 日	日本保育協会	主任保育士研修会	日本保育協会	1 名
12 月 6 日	神奈川県社協	苦情対応の基礎知識と基礎姿勢	かながわ福祉サービス運営適正化委員会事務局	1 名
1 月 18 日	神奈川県歯科医師会	食と口腔の健康に係る講習会	神奈川県歯科医師会	1 名
2 月 7 日	川崎市役所	連携保育の大切さ「園内・職員間の連携」	川崎市こども未来局子育て推進部	1 名
3 月 18 日	川崎市役所	平成 29 年度保育士試験直前対策講座	ヒューマンアカデミー式会社	1 名

平成２８年度
新井小学校放課後キッズクラブ　事業報告

１　活動場所

・キッズクラブ教室専用室及び図工室
※その他学校に支障のない範囲で体育館、校庭等を使用しました

２　開設時間

・月・火・木・金　14:30～19:00
・水　13:30～19:00
・土　長期休業　8:30～19:00

３　一斉下校時間

・３月～９月　17:00
・１０月～１１月・２月　16:30
・１２月～１月　16:00

４　開設日数

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	合　計
24	23	26	25	24	24	290 日
10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
25	24	23	23	23	26	

・昨年度と大きな変動なし。

５　在校生児童数、登録数、登録率

学年	１年	２年	３年	４年	５年	６年	合計
28 年度在籍	54	68	77	78	71	78	426
28 年度登録	52	65	72	54	41	17	301
28 年度登録率	92.7%	93.8%	80.5%	65.3%	50.7%	19.2%	64.7%

平成 29 年 3 月 31 日現在
・昨年度と大きな変動なし。

6　職員

（1）

職　　種	勤務時間
主任　　（常勤）1 名 副主任　　（常勤）1 名	13:00～19:00（6 時間） 14:00～19:00（5 時間）
非常勤職員 10 名	平日 4 時間勤務　週 1 日～4 日 土曜・休業日 4 時間～8 時間勤務

・平日は５名体制をとり、土曜日や長期休業中は午前と午後を２名体制で出勤しました。

（2）健康管理

・非常勤職員が胸部レントゲンを受診しました。
・細菌検査（検　便）を毎月、職員が提出しました。
・感染症予防の為、インフルエンザ注射を受けてもらいました。

(3) 職員会議

・　毎月１回、職員会議を行い、職員間での情報共有と学校（児童専任）にも出席して頂き児童の情報交換を行いました。

7　主な行事（プログラム）

月	主なイベント	その他のイベント	栽培活動	会議等
4	宝探し 綿菓子体験 横浜ＦＣと遊ぼう 一斉下校 17：00	警察防犯教室 マイハシ作り 下敷作り		春休み 4 日まで 入学式（4／5） 企画会議 職員会議
5	防災体験教室 ＳＤＷパフォ 一斉下校 17：00	マジックショー バッジ作り プラバン作り	サツマイモ畑耕し	新井小オリンピック 企画会議 職員会議 遠足顔合わせ
6	わくわく教室 流しそうめん 一斉下校 17：00	キッズフェスタ ストラップ作り スライム作り	サツマイモ植え付け	第１回評議会 企画会議 職員会議
7	スイカ割り 一斉下校 17：00	ミサンガ作り 避難訓練 保護者職員体験 水遊び		夏季休業 7 /21~31 企画会議 職員会議 AED 講習会
8	きも試し くじ引き大会 一斉下校 17：00	ケアプラザ交流 ザリガニ釣り 水鉄砲遊び 虫取り大会	サツマイモ畑草とり	職員会議 夏季休業８/１～２８
9	第6回ふれあい遠足 キッズ縁日 一斉下校 17：00	避難訓練 焼スポ大会 サッカー教室 ドッチビーあそび		企画会議 職員会議 遠足顔合わせ
10	キッズ秋の運動会	オセロ大会		第１回保護者会

	バス遠足 ハロウインパーティー 一斉下校 16；30	フェルト飾り作り ハロウイン衣装作り Let's バレーボール		企画会議 職員会議
11	紙芝居 親子ＡＥＤ教室 一斉下校 16：30	Let's おおなわ Let's バスケ 避難訓練 紙粘土作り	サツマイモ堀り （収穫祭）	企画会議 職員会議 ミュージックフェスタ 遠足顔合わせ
12	クリスマス会 スノードーム作り 一斉下校 16：00	大掃除 キッズサンタ Let's ﾊﾞﾄﾞﾐﾝﾄﾝ		年末休業 12/29～31 企画会議 職員会議
1	書き初め お正月あそび 一斉下校 16：00	笑ってはいけない鬼ごっこ シュシュ作り たこ作り		年始休業１/1~3 保護者アンケート配布 企画会議 職員会議
2	豆まき チョコづくり 一斉下校 16：30	バルーンバレー アイロンビーズ 将棋大会 紙相撲大会		保護者アンケート回収 まとめ 企画会議 職員会議
3	映画鑑賞会 卒業遠足 一斉校 17：00	Let's キックベース 卒業生タイムカプ セル クリーンアップ 避難訓練		第 2 回保護者会 第 2 回評議会 企画会議 職員会議

（1）校外活動

・バス遠足（キッザニア）（ボウリング）を行いました。キッザニアでは１４０名の参加があり、これはキッズクラブを運営してから１番多い参加人数となりました。また卒業生（6年生）限定の卒業遠足を初めて企画し、お台場のジョイポリスに行きました。

＊９月に予定していた「ふれあい遠足」３月に予定していた「映画鑑賞会」は中止となりました。

（2）地域参加イベント

・８月にケアプラザに行き、利用者の方たちと交流しました。また９月に新井中学校で行われる焼きスポ大会と３月に行われる駅伝大会に参加して地域の方たちと交流し地元の温かさに触れました。

（3）その他イベント

・すいか割りやクリスマス会など例年から人気のイベントは継続しつつ、今年度は外部講師を呼ぶイベントを増やしました。中でも工作ショーでは２００名（在校生は４００名程度）の参加があり、過去最高の参加人数を記録しました。

8　保護者関係

・保護者会規約に沿って、１０月と３月に行いました。子どもたちの様子を撮ったＤＶＤを上映するとともに、意見交換や要望を聞きました。また、保護者会にて要望が多く

ありました長期休業中のお弁当をキッズクラブで用意してほしいという意見に関しましては次年度検討していくことになりました。

9　学校との連携

・児童専任、校長、副校長の３名の方と定期的に打ち合わせを行うだけでなく、毎日職員室へ行きその日の児童や学校の情報を交換しました。また、イベントなどでは学校の先生に参加して頂き、キッズクラブ職員や子どもたちと交流してもらいました。

10　地域関係

・　地域育成者交流会に出席し、地域の方々と交流しました。また流しそうめんでは新井町公園愛護会の方にご協力いただき、当日は子供達と一緒に参加してもらいました。

・保土ヶ谷消防団の方に救命講習を行ってもらいました。

・評議会を年２回行い、地域の代表者の方にたくさんのご意見を頂きました。

11　防災対策・防犯対策

・火災避難訓練年（２回）
・地震避難訓練（年２回）
・防犯訓練（年２回）
上記の訓練を年２ずつ行いました。

・下校指導（月１回程度）
子どもたちの下校指導と地域のパトロールを月１回程度行いました。

12　広報関係

・毎月キッズ便りを発行し、キッズクラブの情報を保護者や地域の方にお伝えしました。

13　その他

・今年度は昨年度に人気のあったイベントを残しつつ、新しいイベントも加えることにより昨年度を大きく上回る参加人数がありました。よって規模２から規模３になることができました。
また今年度のアンケートでは１００％に近い満足度を頂くことができました。５年間の運営を通して地域や保護者の方にキッズクラブの活動が周知し、理解されてきている実感がありました。
ですが、防犯面やおやつの衛生面（キッチンがない）などまだまだ課題は多く残っておりこれから１つずつ解決していきたいと考えております。